

様式 1

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科	備考
国語セミナー	2	3	選択	普通科	

1. 科目概要および目標

1, 2年で学んだ現代文・古典それぞれの分野を復習し定着させることにより、大学入試問題に対応できる総合的な力を身につけることを目標としている。

2. 成績評価

中間考査、期末考査や小テスト、提出物などを加点して成績を出す。

無断欠課・欠席は減点する。

定期テスト	70%	その他小テスト等	20%	授業・提出物	10%
-------	-----	----------	-----	--------	-----

3. 使用教科書・教材

2 + 錬成現代文 改訂版 (尚文出版)

常用漢字ダブルクリア (尚文出版)

4. 授業の展開と形態

現代文においては小説・評論の読解方法を演習を行いながら定着させる。古文においては重要古語や古典文法、漢文においては重要語句や漢文句法の徹底理解・定着をはかり、文章読解を確実なものにする。

5. 学習方法

原則として家庭学習が必要である。

大学進学に向けて理解を深められるよう、普段から授業で着実に力を付けるよう心がけることが重要である。

6. 履修上の留意点

(1) 科目選択をする際考慮すべき事項

普通科選択

(2) 就職・進学試験等と関連しての注意事項

上記のテキストを用いながら国語の基礎力養成をはかる。

年 間 授 業 計 画

月	講	学習項目	学習内容(ねらい) および評価の観点						評価方法
				a	b	c	d	e	
4	1		国語総合オリエンテーション						
	2	評論：1 日本語の外へ	<ul style="list-style-type: none"> 入門としての評論の読み方を習得する。 日本語が主観を優先させるものだと言うことを知った上で、自身の発言を客観的に眺める姿勢も身につける。 指示内容を把握する。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 テキストの提出 定期考査
	2	評論：2 仮説力	<ul style="list-style-type: none"> 入門としての評論の読み方を習得する。 本文中に学問上の用語や筆者独自の言葉が用いられているので、その定義、言葉の意味を把握する。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 テキストの提出 定期考査
5	2	随想：3 詩集とは何か	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の体験から「詩とは何か」をおさえさせ、詩や詩集に対する筆者の思いを読み取る。 筆者が体験のどこに注目し、心を動かしているのか、考えを深めているのかを確かめる。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 テキストの提出 定期考査
	2	小説：4 あすなる物語	<ul style="list-style-type: none"> 小説の読み方を習得し、その描写がどのような視点によるものか、という点に注意する。 登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 小説についての理解を深め、小説のおもしろさを味わう。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 テキストの提出 定期考査
	1		1学期中間考査						
	2	評論：5 布の力	<ul style="list-style-type: none"> 「定価」とそれ以前の値段のつけ方が対比的に示されているが、対比盲目をおさせただけではなく両者の相違点がどこにあるかを確認する。 主題を確認する。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 テキストの提出 定期考査
6	2	評論：6 言語の脳科学	<ul style="list-style-type: none"> キーワードには「言語」のほか「脳(心)」や「難問」も挙げられる。それらの語句の意味をおさえておく。 「同義語」や「類義語」、「言い換え」に注意する。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 テキストの提出 定期考査
	2	小説：7 塩狩峠	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 小説についての理解を深め、小説のおもしろさを味わう。 三人称の視点で描かれているが、多くは特定の人物の視点になっているので、作品理解の手がかりとさせる。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 テキストの提出 定期考査
	2	評論：8 20世紀とはなんだったのか	<ul style="list-style-type: none"> 〈具象〉と〈抽象〉を読み分けられる能力を身につけ、記述が〈具象〉か、〈抽象〉かと考える習慣を身につけておきたい。 抽象化された記述を読み取る。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 テキストの提出 定期考査
	1		1学期期末考査						
7	3	小説：9 英雄の器 (1600字)	<ul style="list-style-type: none"> 最後の結論に到るまでの対比関係をおさえる。 人物の動作も、その心情を把握するための重要なヒントとなることをおさえる。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 テキストの提出 定期考査
	3	評論：10 恋するコンピュータ (2000字)	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータと人間の対比構造をおさえる。 キーワードに従って、文の流れを把握する。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読

		漢字・語句の問題 (1)	・間違えやすい漢字や語句を覚えておく。	○	○	○	○	○	・テキストの提出 ・定期考査
			夏休みの課題17～20 漢字・語句の問題(2) 限られた時間で考え読むことができるか。	○	○	○	○	○	
8 9	2	評論：11 日曜日の読書	・小説を読み味わう。 ・抽象的な記述だけでなく、具体的な記述をおりませた文章から当時の世間での小説の位置づけを理解する。	○	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・テキストの提出 ・定期考査
	2	随想：12 失われた「道」の豊かさ	・随想の読解のためには、話題に対して筆者が考えたこと、さらには感じたことを的確につかむ。 ・現代の「道」に対して筆者がどのような批判を述べているのか考える。	○	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・テキストの提出 ・定期考査
	2	評論：13 都市の感情	・問題提起と結論をおさえることで、文章の大きな流れを把握する。 ・筆者の問題提起から、本来の「経験」のあり方を理解する。	○	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・テキストの提出 ・定期考査
	1		2学期中間考査						
10	2	小説：14 花影の花	・作者が描写こどのような意味を含んでいるかを考えて読み進めてみる。 ・「月光」の意味するところを考え、比喩表現について理解する。	○	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・テキストの提出 ・定期考査
	2	評論：15 デザインの教科書	・「ねばならない」「べきである」といった強調表現とともに、「～か」という疑問形も筆者の意見や主張と関連していて、遠回しに意見を訴えていることをおさえる。 ・筆者は、〈もののデザイン〉という観点から、「環境」、「社会」、「人間」を有機的に考えた上で、環境問題への対処の方策を検討しようとしていることを理解する。	○	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・テキストの提出 ・定期考査
11	2	評論：16 身体の零度	・筆者が何を中心に論じているのか、議論の中心＝論点を捉える。 ・文化論というテーマをおさえ、人々の表情やふるまいが時代によって変化するという指摘に注意する。	○	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・テキストの提出 ・定期考査
	2	評論：21 「野性」の哲学	・引用文に注意し、筆者の意図するところを考える。 ・「人間とは何か」という根源的なテーマにふれる。	○	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・テキストの提出 ・定期考査
	2	評論：22 人はなぜオカルトを信じるのか	・時代の変化とともに、物事や人の考えが変化することを、筆者がどう考えているのか理解する。 ・科学が個人的な営みから制度化され、「再現可能性」という「科学の基準」ができたことをおさえる。	○	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・テキストの提出 ・定期考査
	1		2学期期末考査						
12	2	小説：23 青桐	・小説を読み味わう。 ・風景の描写が人物の心理を象徴していることに目を向ける。	○	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・テキストの提出
	2	評論：24 脳から身体・環境へ	・「AではなくB」「むしろ」などの形式を意識し、論理は、文の形式や語彙によって示されることを理解し、時間ごとに気をつけて読む。	○	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読

			<ul style="list-style-type: none"> ・「心」とは、個人の内面的なものではなく、社会的に形成されたものだということを理解する。 	○	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの提出
1	2	評論：25 働く女は敵ばかり (2000字)	<ul style="list-style-type: none"> ・常識だと思えることを改めて考察し、物事の本質をおさえ、時間置分に気をつけて読む。 ・日常会話の中における隠された人間の「権力」への欲望をおさえる。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・テキストの提出
	2	小説：26 黄金時代 (2000字)	<ul style="list-style-type: none"> ・より抽象的な事柄を、象徴的に表していることを意識して、時間置分に気をつけながら読む。 ・主人公の困難に立ち向かう姿を味わう。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・テキストの提出
	1	評論：27 文明としての教育	<ul style="list-style-type: none"> ・要点をすばやくおさえるために、具体例をどうおさえて読むか、時間置分に気をつけながら読む。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・テキストの提出
	1	評論：28 明治百年	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の文学的な感性から使われる巧みな比喻を理解を深め、時間置分に気をつけて読む。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・テキストの提出
2	1	小説：29 星々の舟	<ul style="list-style-type: none"> ・場面ごとに人物の心情をおさえながら、全体を貫く人物の心情をおさえる。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・テキストの提出
	1	評論：30 生き残る言語	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が何の価値を見いだしているのか、何を批判しているのかを把握し、長文においても論旨を見失わずに読む。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・テキストの提出